第 4 学年 国語科学習指導案

日 時 平成 1 6 年 1 0 月 1 5 日 (金) 5 校時 児 童 男 9 名 女 1 1 名 計 2 0 名 指導者 小 菅 和 子

1 単元名 わたしたちの体について調べよう 教材名 体を守る仕組み

これが、「わたし」です

2 単元について

(1) 教材について

本教材は、病気の原因となる微生物から体を守るために、私たち人間に備わっている仕組みについて説明したものである。「はじめ・中・終わり」の典型的な説明文の構成をとっており、「はじめ」の部分で病気の原因となる微生物の特徴を示した後、「中」の部分では体の外側と中側に分けて事例をあげ、体を守る仕組みのすばらしさを述べている。「終わり」の部分では、読者自身の体や健康、生活のあり方を再考するよう促す書き方となっている。

体を守る仕組みについて具体的に述べている「中」の前半部分では、微生物を体内へ入り込ませないようにしている体の外側の仕組みの例として、皮膚、涙、繊毛をあげている。

一方、後半部分では、体の内側の仕組みとして白血球が例にあげられている。外側の仕組みと違って、侵入してきた微生物を殺す機能が説明されている。

体を守る仕組みについて体の表面から内部へと進められ、児童が自らの体のこととして 感じ、考えながら読み進めていける適切な教材と考える。

(2)児童について

児童は、3年上巻の「ありの行列」で段落について知り、4年上巻の「ツバメがすむ町」において幾つかの段落が結び付いてまとまりを構成し、それらのまとまりが集まって一つの文章を作り上げているということを学習した。言葉に着目し、叙述に即して読み取りができるようにもなってきている。しかし、段落相互の関係を捉えることや、段落の中の大事なことをおさえることができない児童も見られる。日常的には、教材文の内容を読み取る力を付けるために家庭の協力を得ながら、音読に取り組んでいる。

(3)指導について

自分たちの体について興味をもたせ、段落相互の関係を示す接続語について理解させながら文章を正確に読み取らせたい。また、話題に対応する叙述を読み取ったり、どのような事例を挙げてどう説明されているかをまとめながら読み取らせていきたい。そして、例示の中で説明してあることと自分の経験を比べながら「何か思い当たることはないだろうか」など、児童に応じた言葉がけをし、叙述と自分の生活・体をつないで考えられるように支援していきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1)目標

自分たちの体について興味をもち、段落相互の関係を考えながら文章を正しく読むこと

ができる。

・体について疑問に思うことを本を読んで調べることができる。

(2)評価規準

・体を守る仕組みに関心をもち、進んでまとまりごとに自分の体と結びつけて読もうとしている。 (関)

書かれている内容を正確に読み取るために、各段落の要点のまとめ方を知り、接続語に 着目しながら段落相互の関係をつかんでいる。 (読イ)

- ・体を守る仕組みについて、事典などで調べて材料を集め、選択している。 (書イ)
- ・書こうとすることについて、引用部分をはっきりさせて書いている。 (書工)
- ・「でも・また・ですから」などの接続語が、文と文、段落と段落の関係を分かりやすく していることを理解し、使っている。 (言(1)オ(ウ))

4 単元指導計画(14時間)

次	時	主 な 学 習 活 動	指導目標
	1	・全文を通読し、単元全体を見通し、	・題名や教材文を読んで、体を守る仕組
1		学習計画を立てる。	みについて調べたいことを書き出し、
			学習計画を立てることができる。
	2	・「体を守る仕組み」を3つのまと	・全文を「話題を提示している部分」「例
		まりに分ける。	をあげて説明している部分」「話題に
			ついてまとめている部分」の3つのま
			とまりに分けることができる。
	3	・「学習の窓」を参考に、接続語に	・接続語「でも」「また」「ですから」の
		着目して読み、第2・3段落の要	働きを理解し、文章の組み立てをとら
2		点のまとめ方を知る。	えることができる。
	4	・「微生物が体に入るのを防ぐ仕組	・「皮ふ」「なみだ」「せん毛」の働きを
	本	み」を読み取る。	読み取り、まとめることができる。
	時		
	5	・「微生物と戦うすばらしい仕組み」	・「小さな白血球」「大きな白血球」「高
		を読み取る。	い熱」の働きを読み取り、まとめるこ
			とができる。
	6	・筆者の思いを読み取り、自分の考	・ 筆者の思いに自分が怪我をしたり、病
		をもつ。	気をしたりした時の体験を重ね合わせ
			考えたことをまとめることができる。
	7	・「体を守る仕組み」について分か	・「体を守る仕組み」について分かった
		ったことと、さらに調べたいこと	ことと、調べたいことを表にまとめ、
		を表にまとめ、自分の課題を決め	自分の課題を決めることができる。
		る。	
	8	・調べたいことをいろいろな資料で	・資料の中から自分の課題に対し、必要
		調べ、必要な部分をノートやカー	な部分を書き写すことができる。
		ドに書き写す。	
	9	・宮中さんの例を参考にして、分か	・調べたことを分かりやすく表現するた
		りやすいまとめ方を話し合う。	めの書き方(絵、図、文章、名前、コ
			メント、日付)に気づくことができる。
3	10	・調べたことを分かりやすく書き直	・調べた資料の中から必要な部分だけを
	11	す。	引用したり、難しい言葉や表現を辞書
			を引いて調べ、読み手に分かりやすく
			書き直すことができる。
	12	・文章を見直し、必要な絵図や表を	・相手意識をもち、伝える相手が読みた

		整えて作品を仕上げる・	くなるような工夫を取り入れ作品を仕
			上げることができる。
	13	・作品発表会を開く。	・友達の作品を見て、まとめ方の良さや
			自分の調べたことと比較しながら気づ
			いたことを話すことができる。
	14	・同じ読み方の漢字があることを理	・同音異義語の漢字を正しく使うことが
4		解し、意味の上で正しい使い方を	できる。
		する。	

5 本時の指導(本時4/14)

(1)目標

「微生物から自分の体を守る仕組み」を読み取ることができる。

(2)本時の評価規準

「皮ふ」「なみだ」「せん毛」の働きを読み取り、まとめている。

(3)研究主題との関連

説明文教材を正しく読み取るための指導法の「要点をとらえさせる方法や手順(エ) 段落と段落との意味のつながりを考えながら読む」と豊かに伝え合う力を育成するための 指導法の「書くことの中の伝え合い(ア)書いたものを読み合う」との関連で指導する。

そのために、「見通す」段階で、段落相互の関係を表す接続語に着目させ、文章の組み立てをとらえさせ、「学び合い」の段階で「なみだ」や「せん毛」について書いたことを伝え合うようにさせたい。

(4)展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点と評価
	1 前時の学習を想起する。	・前時で話題を提示されたことを想起さ
つ		せる。
か		
む	2 本時の学習課題を確認する。	
3	微生物から自分の体を守る仕組みは	
分	どうなっているのか。	
見	3 段落の内容を見通す。	・体を守る仕組みとして5段落「皮ふ」、
通		6段落「なみだ」、7段落「せん毛」、
す		8段落「このほか」をあげていること
5		に気づかせる。
分		・接続語の働きにも着目させる。
	4 本時の学習する範囲を音読する。(P	・指名読みをさせる。
	2 2 L 1 ~ P 2 3 L 6)	
学		
び	5 「皮ふ」「なみだ」「せん毛」の働き	・線を引いたところを発表させる。
合	が書かれているところに線を引く。	
う		
	6 「皮ふ」「なみだ」「せん毛」の働き	・「皮ふ」の働きを全体で取り上げ、「そ

32 分	を読み取る。 (1)「なみだ」「せん毛」の働きをワークシートにまとめる。 (2) ワークシートに書いたことをもとに話し合う。	れだけでなく」という言葉を押さえ、 皮ふの 2 つの働きをまとめさせる。 ・「なみだ」「せん毛」についても微生物 をどのようにしているかに着目させ、 まとめさせる。
	7 課題の答えを、口頭でまとめる。	【評】「皮ふ」「なみだ」「せん毛」の働きを口頭でまとめることができたか。
	8 まとめたことをもとに、自分の経験と比べ、思い当たることを伝え合う。	・自分の生活・体とつないで考えられる ようにし、発表させる。
まとめ	9 本時の学習を振り返る。	・自己評価し、本時の学習を振り返らせる。
る 5 分	10 次時の予告をする。	・たくさんの仕組みがあるにもかかわらず、微生物が体の中に入りこんできた 場合について学習することを予告する。

(5)具体の評価規準

A「皮ふ」「なみだ」「せん毛」の働きを読み取ってまとめ、自分の経験と比べたことを伝えている。 (読イ)

B「皮ふ」「なみだ」「せん毛」の働きを読み取り、まとめている。 (読イ)

【C 児への支援】 微生物をどうしているかに着目させ、体を守る仕組みを読み取れるようにアドバイスする。

(6)板書計画								
たくさんの仕組み	外へ外へとおし出す。・鼻や口から入ってきた微生物を	せん毛	・微生物を殺す。・微生物を流す。	<u>なみだ</u> 「それから」	・あかになって、微生物も落とす。・微生物を通さない。	皮ふ	仕組みはどうなっているのか。	体を守る仕組み

りやすいまとめ方を話し合う。 りやすいまとめ方を話し合う。

りやすいまとめ方を話し合う。 りやすいまとめ方を話し合う。